

2番作野幸憲議員、登壇願います。

作野議員の質問時間は2時20分までです。

〔2番 作野幸憲君 登壇〕

○2番（作野幸憲君） 議席番号2番作野幸憲でございます。議長に許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

さて、今回私が質問させていただくのは、高齢者と子供の安全・安心対策についてと、ブロードバンドインフラ整備事業の利活用等についてでございます。

まず、高齢者と子供の安全・安心対策について質問したいと思います。

現在、私は佐伯、勝部議員さんと一緒に安来市交通安全協会の役員をし、また今年度安来市PTA連合会の会長を引き受けております。そういう中で、さまざまな安全・安心に関する各種の会合にも出席し、いろいろと勉強をさせていただいております。そして、議員になる前からも地域の交通安全、青少年健全育成などの多くの活動にも参加してまいりました。私は、その活動を通してすごく不満に思っていることがございます。それは、地域で活動している皆さんの事務所費を含めた活動予算が非常に少ないということでございます。安全・安心というと、とても範囲が広がりますので、今回は交通安全対策、青少年健全育成対策、そして防犯対策、特に防犯灯の設置に絞って質問をさせていただきたいと思っております。

まず、第1は交通安全対策でございます。交通安全対策という観点からは2つに分かれると思っております。1つは、道路の修理を初めとする管理や、カーブミラーやガードパイプの設置などの分野と交通事故防止の分野に分かれると思っております。

長年、陸の交通安全は皆さん御承知のとおり警察が主に担当し、市と交通安全協会とが一緒になって春と秋の全国交通安全運動の実施を初め、交通安全教室、交通安全大会や近年では交通安全高齢者の主張など、数多くの事業をし、交通事故防止に努めてまいりました。そして、長年の努力の結果、交通事故は激減し、全国の交通事故死亡者は昭和27年以来57年ぶりに5,000人を切りました。しかしながら、近年高齢者の交通事故死者数の構成比は、全死者数の中で毎年高くなり、島根県においては昨年高齢者の交通事故死亡者は27名で、その構成率は全死者の72.7%に達しています。また、歩行中、自転車乗用中の死者のうち9割弱が高齢者でもあります。また、夕暮れどきと夜間の歩行中の事故も多く発生するようになってきております。このように、高齢者の交通事故防止は喫緊の課題となってきております。

しかしながら、景気の悪化などの要因で交通事故防止の活動費の大部分を占める交通安全

協会の会費収入が近年大幅に落ち込み、以前のような活動ができない状況になってきております。会費収入といいますのは、免許を取得するとき、あるいは更新するとき、免許センターあるいは警察の窓口で交通安全協会の会員になっていただけませんかという勧誘があると思います。ここで会員になっていただいた方の会費の一部が各市の交通安全協会に還元され、活動資金として使われております。そして、そのほかの収入で一番多いのが、市の交通安全対策協議会からの補助金、年間45万円です。

そこで、お尋ねいたします。

現在、安来市の交通安全に関する予算は道路管理費も含め、幾らあるかお答えください。そして、直接市が携わっておられる交通安全事業は何か、お答えください。

私は、交通安全は事故が大幅に減ったとはいえ、これからも継続して今まで以上に活動をしていかななくてはならないと思っております。幼少時から、そして小学校、中学校の交通安全教室や交通安全指導が現在の大幅激減の状況を生み出していると思っております。これからは、行政の交通安全に対する考え方は非常に大切になってくると思っております。財政的な支援がこれ以上難しいのであれば、ほかの形での支援、例えば市職員さんの積極的な交通安全への参加協力などが私はあると思っております。

第2に、青少年健全育成対策について質問をいたします。

安来市は、平成18年3月に策定された安来市総合計画の中で、人が輝く活力発揮のまちづくりの中で、青少年の健全育成をうたっておられます。また、昨日全員協議会でお話しいただいた後期基本計画案においても総合的な子供、若者育成支援施策の推進という項目を新しく追加されました。私も今年度安来市PTA連合会の会長として、青少年の健全育成の重要性を改めて認識したところであり、現在安来警察署を初め、安来市青少年育成連絡会議や安来市学校・警察連絡協議会、安来市少年補導委員連絡会など、さまざまな団体が未来の安来市を担う青少年の育成を目指し、努力いただいていることに関し、非常に感謝し頭が下がる思いでございます。しかしながら、安来市青少年育成連絡会議の市からの予算は何と年間15万円で、これがまた支部に配分されますので、地域で活動していただいている人たちは活動費がほとんどない状態です。実は、先日も地元の小学校の安全マップを地域で連携して作りましたが、ことしも印刷代を捻出するのに非常に困りました。

そこで、お尋ねいたします。

安来市の青少年健全育成にかかわる予算、各種団体への補助金と市の事業はどのようなも

のがあるか、お答えください。

第3に、防犯対策、特に防犯灯の設置について質問したいと思います。

防犯灯の現状については、3月議会において先輩議員より質問がありましたので、その点については省略させていただきたいと思います。皆さん御存じのとおり、昨年夏発生した浜田市の島根県立大学生遺棄事件以降、防犯に対する県民の不安感が高まってきております。そこで、島根県では緊急防犯対策として防犯灯設置事業が創設されました。今議会の議案説明において、安来市もこの補助事業を活用して中学校、高校周辺及び通学路、特に自治会から離れた場所を中心に22灯の防犯灯の機能を持った道路照明灯を設置されると聞き、保護者の立場からも大変ありがたいと思いましたが、しかしながら、それでも私はまだまだ足りないと思っております。たしか雲南市におきましては、この事業の一部を活用し、通学路や生活道路において夜間の安全性を確保し、犯罪被害を未然に防止するため防犯灯を設置する事業が開始され、1,200万円強の補正予算を組んで370台ほどの安価なLED防犯灯を設置されるというふうに聞いております。私は、財政的に安来市は非常に厳しいとは認識しておりますが、高齢者や子供の交通安全や防犯の面からも、防犯灯のさらなる設置については市がある程度負担してでも取りつけていく必要があると思っております。

そこで、お尋ねいたします。

将来、市独自の防犯灯設置事業などは考えておられますでしょうか。将来、そのような展望があればお聞かせいただきたいと思っております。

以上、お話ししたとおり、安全・安心に関する取り組みは非常に重要で、市民の皆さんもそれを強く要望しておられると私は感じております。

そこで、市長さんにお尋ねいたします。

きょう質問させていただいた分野を初め、安心・安全に関する予算は、私は非常に少ないと思っておりますが、新年度予算に向けて見直しも含めてどのようにお考えであるか、お答えいただきたいと思っております。

次に、ブロードバンドインフラ整備事業の利活用等についての質問に移りたいと思っております。

去る8月18日より、ブロードバンドインフラ整備事業に係る住民説明会が始まり、来年3月の整備完了に向けいよいよ進み始めたという感じです。住民説明会の参加者の人数は会場によってさまざまのようですが、なるべく多くの市民の方に説明され、多くの方に入っただけのよう努力を続けていっていただきたいと思っております。

ところで、昨年の12月議会でも質問させていただいたように、私は整備の完了後の利活用がこの事業では最も大切だと思っております。それは、いろいろな分野でこれを利活用することによって、安来市全体が大きく変わる可能性があるからです。

そこで、お尋ねします。

先ほど質問した、高齢者や子供の安全・安心も含めた対策などにも、このブロードバンドインフラ整備事業は非常に有効で活用できると私は思いますが、具体的な検討に入っておられるのか、まだならいつごろから検討に入られるのか、お答えください。

そこで、今回は来年4月の開局までの時点で市当局に取り組んでいただきたいことについて提案並びに質問をさせていただきます。

まずは、ケーブルテレビの自主チャンネル。映像中心のどじょっこチャンネルとデータ放送の行政チャンネルの利活用についてでございます。

私は、高齢者でもなじみの深いテレビの活用が一番現実的だとまず思っております。今回提案したいのは、自主チャンネルの部分の利用を各種団体の皆様方に積極的に市から告知していただきたいということです。住民説明会の中では、交流センターや学校などの地域行事は積極的に取材に行きます、放送しますという事業者の話でございましたが、私は先ほどの質問で取り上げた交通安全協会や青少協、PTAや商工会議所などのあらゆる団体にも積極的に使っていただけるようにしていただきたいと思っております。そうすれば、お金がない団体でも無料で広報ができ、また経費の削減にもなると思います。そして、視聴していただく方にも各種団体の活動をわかりやすく伝えることができると思います。市も災害時などの緊急情報だけではなく、広報紙「どげなかね」などの内容もデータ放送を含め、有効に利用されるべきだと思います。そうすれば、将来は紙ベースの広報紙に取ってかわる時代もやってくると思いますし、印刷にかかる経費も大幅に減らすことも可能だと思います。また、例年ほぼ同じ内容で開催されている各種大会なども、近い将来はテレビで多くの市民の皆さんに見ていただく方向に持っていったほうがよいと思っております。

そこで、お尋ねいたします。

市は自主チャンネルを各種団体などに使っていただく考えはありますか。また、市は政策などを自主チャンネルで流される計画はありますか。あればどのようなのを考えておられるか、お答えください。

最後になりましたが、教育委員会にお尋ねしたいと思います。

ブロードバンドインフラ整備事業が完成するという事は、安来市のインターネット環境が大幅に変わるということも意味しております。子供たちの多くは、光ファイバーが家に来るということを楽しみにし、そのこともよく承知しております。学校や保護者としては、環境の大幅な変化がいろいろな問題を引き起こすのではないかと心配しています。

そこで、お尋ねいたします。

教育委員会として整備完成前に子供や保護者へのインターネットに関する安全・安心対策は講じられますでしょうか。変わることがわかっているわけですから、何らかの方策を今までとは別に私は講じていただきたいと思います。

私は、ブロードバンドインフラ整備事業を最大限に利活用すれば、さまざまな分野で安来市を大きく変える可能性を持っていると思いますし、財政面でも大きな貢献ができるものだと思います。また、過疎債の新規ソフト事業に、集落の維持及び活性化、その他の住民が将来にわたり安全で安心に暮らすことのできる地域社会の実現などの項目ができましたので、モデル地区などを設定することも念頭に入れていただいて、ぜひとも早急な検討に入ってくださいと切に思っております。

以上で私の壇上からの質問とさせていただきます。御清聴ありがとうございました。

○議長（梅林 守君） 近藤市長。

〔市長 近藤宏樹君 登壇〕

○市長（近藤宏樹君） 作野議員さんの質問にお答えいたします。

安来市における安心・安全に関する予算、これが低いのではないかという御指摘でしたが、これをまだ比較をしております、他市と。ですから、予算全体に占める割合が低いかということは、私は今認識しておりません。なぜかといいますと、安心・安全に関するというとらえ方は広範囲にわたりますので。しかし、いろいろ御指摘いただきました。これを十分に再検討してみたい、そしてぜひともこの子供あるいは高齢者の方々の安心・安全を高めていきたい、こういうふうに思っておるところでございます。

ちなみに、先般行われました島根県の市長会、これで県が防犯灯設置事業を行って、県が補助してやるから市もつけなさいということなんですが、安来市はいち早く担当者が取り組んでくられて、市長会で言いました。そうしたら、えらい早いんですね安来市さんというふうにはほかの市長さんが褒めてくれたぐらい担当が一生懸命対応してくれております。そして、まだ我々は担当部署と市内のすべてのいわゆる防犯灯を初め、街路灯をIT、パソコン

で把握していこう、こういう計画を立てております。担当もかなり一生懸命やっております。ただ、先ほど御指摘の点で、まだまだ再検討してみなければならない点多々あると思いますので、どうかよろしく願いいたします。

○議長（梅林 守君） 仁田市民生活部長。

〔市民生活部長 仁田隆敏君 登壇〕

○市民生活部長（仁田隆敏君） 失礼いたします。私のほうからは、交通安全対策についてお答えをさせていただきます。

まず、交通安全に関する予算でございますが、市民参画課が所管いたしております交通指導員の報酬や交通安全対策協議会負担金などの交通安全対策費、これが458万7,000円でございます。それと、都市管理課が所管しております交通安全施設の設置や道路の維持管理等に係る経費でございます、道路の除雪費を除いた金額でございますが3,198万5,000円でございます。合わせまして3,657万2,000円となります。

次に、市が携わっている交通安全事業でございますけども、本市の交通安全対策、それに変わる事業につきましては安来市交通安全対策協議会が主体となりまして交通安全計画の策定、あるいは交通安全事業の実施をいたしておるところでございます。この協議会でございますけども、安来市、安来警察署、交通安全協会、広瀬土木事務所、安全運転管理者協会などさまざまな諸団体が組織しておりまして、市長が会長、事務局は市民参画課が所管となっている団体でございます。この交通安全対策協議会の主な事業ということでございますけども、春と秋の全国交通安全運動これの推進、新入小学生への交通安全ランドセルカバー、たすきの配付、新入中学生へのマナーアップ自転車指導、交通安全高齢者の主張大会、安来市交通安全大会、これらの大会の開催、高齢者を対象としました交通安全体験教室の開催、夜行反射材の着用とライト点灯運動などが主な事業でございます。

以上でございます。

○議長（梅林 守君） 梶瀬健康福祉部長。

〔健康福祉部長 梶瀬繁人君 登壇〕

○健康福祉部長（梶瀬繁人君） 私のほうからは、青少年の健全育成にかかわる予算と事業についてお答えしたいと思います。

青少年健全育成にかかわる予算としましては、安来市青少年健全育成連絡協議会の活動に対しまして、先ほど議員おっしゃいましたように補助金15万円を支出いたしております。こ

の連絡協議会につきましては、下部組織として各地区青少年健全育成協議会があり、それぞれの地区の特性を生かしながら青少年育成事業や子供の安全・安心に関する事業などを行っております。また、安来市学校・警察連絡協議会に対しまして負担金といたしまして2万7,000円支出いたしております。この協議会では、学校と警察が情報交換をしたり、研修会を実施しながら児童・生徒の健全育成や環境の整備などについて協議がなされておるところでございます。市といたしましても今後ボランティア団体、関係機関、地域住民の皆さんと協力、連携しながら安心・安全なまちづくりを推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（梅林 守君） 真野総務部長。

〔総務部長 真野善久君 登壇〕

○総務部長（真野善久君） 私のほうからは、防犯灯の関係についてお答えしたいと思います。

まず、3月議会でも答弁いたしておりますように、現在安来市では各自治会が防犯灯を新設される場合、それから今年度から特に、昨年度からですが更新も、さらには柱が必要な場合、何もないところへつける、そういうものを少しずつ補助対象を拡大してきております。今議員おっしゃいますように、県の今の制度2カ年の制度でございます。これが終わった後、じゃあ安来市が100%支出して防犯灯設置する事業をするかということに対しては、現時点では考えていないという答弁をさせていただきたいと思っております。

それから、私のほう、危機管理の立場からでございますが、議員さまざま御指摘ございました。現在、各地域におきまして自主防衛組織をつくっております。御協力いただいて、広瀬のほうでも少しずつそういう結成が進んでいるというふう聞いております。そういうところを通じまして防犯活動をやっていく、それから安来市防犯協会を通じ警察との連携を密にしていく、さらには御承知かとは思いますが、コカ・コーラウエスト社の包括協定等によりまして、災害対応自販機というもの、あそこにメッセージが出るようになっております。これは、危機管理室のほうで緊急の場合はメッセージを入れて、こういう状態ですという通知をすることができて、住民の皆さんに適宜情報提供ができるというふうなものでございます。さらには、ブロードバンドができればもっといいものができるのではないかとことで、積極的に広報をし、安心・安全のまちづくりに努めてまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。

○議長（梅林 守君） 児玉総務部次長。

〔総務部次長 児玉好之君 登壇〕

○総務部次長（児玉好之君） 失礼いたします。作野議員の2点目のブロードバンドインフラ整備事業の利活用についてということで、4点の御質問だったと思います。所管がいろいろ分かれてたり、それから最後の質問では教育委員会に対する御質問でございますけれども、私のほうは答弁を取り寄せておりますので、私のほうから合わせてお答えをさせていただきます。

まず、1点目のブロードバンドインフラ整備事業は、今後の高齢者や子供の対策などに非常に有効に活用できると思うが、具体的な検討に入っているかという御質問です。

御指摘のとおり、本事業でさまざまな分野での利活用が可能となっております。今回整備いたしますインフラで、利用可能となります高齢者の安全・安心に係るサービスにつきましては検討を行っております。今後も他の自治体の取り組み事例を参考にしながら対応をしていきたいと思っております。

それから、2点目のどじょっこテレビの自主放送について、各種団体に活用してもらうことを考えているかということにつきましては、どじょっこテレビは安来市における自主放送チャンネルでありますどじょっこチャンネルの中で、地域の情報を積極的に発信していくこととしております。市としましては、各種団体の活動等につきまして情報発信を進めるため、どじょっこテレビとの仲立ちを行うことなどによりまして、各種団体の活動に関する情報を積極的に提供することで取材を即しながらテレビという媒体の特性を生かした情報発信をどじょっこテレビと連携して進めていきたいと考えております。また、データ放送でもあります行政チャンネルにつきましては、市や学校からの情報提供によりつくられるものでございます。関係部署と連携の上、各種団体の行事予定などにつきましても情報提供をし、情報発信を即したいと考えております。

それから、3点目の市は政策をどじょっこチャンネルを使って流す計画はあるかと、あればどのようなものを考えているかという点につきましては、どじょっこチャンネル内で行政広報番組をするかどうかにつきましては、開始時期やそれからどういう方法でやるのかなど、現在他市の例など情報収集しながら諸課のほうで検討しております。

それから、最後に教育委員会に対する御質問です。ブロードバンドのインフラ整備事業でインターネット環境が大幅に変わるけれども、教育委員会として完成前に子供や保護者への

安全・安心対策を考えているかということにつきましては、学校におきましては既に指導計画に基づきました十分な情報活用能力の教育を展開しているところです。また、ネットワーク上でのマナーやルールを守ること、トラブルを避ける方法などを身につけさせるという情報モラルに関しましても重要な課題との認識を持って取り組んできております。今後も各校におきまして、これらのことに継続して取り組んでいくことが対策となると考えています。保護者に対しましても、子供の安全・安心対策として、これまでも学校だよりやPTA研修の中で取り上げたり、アンケート調査を実施したりするなどの取り組みをしております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（梅林 守君） 2番作野議員。

○2番（作野幸憲君） 答弁ありがとうございました。

市長様のほうから、安全・安心にかかわる特に防犯灯の設置状況等を早急に調べていただける、それによって対応していただけるというお言葉をいただきましたので、これについてはやはりスピード感が一番大事だと思っておりますので、早急に対応していただきたいと思っております。

それと、1点だけ再質問をさせていただきたいと思っておりますが、先ほどの青少年健全育成に関する予算額というものが非常に少ないということが改めてわかったわけですが、昨日全員協議会で説明された安来市総合計画後期基本計画案の中に、総合的な子供、若者育成支援施策の推進という内容が新しく追加されました。きのうのお話では、まだどこまで具体的に話が煮詰まっているかについてはわからないかもしれませんが、当然予算措置や内容も含めて新年度等から具体的に動かれるということになると思っておりますので、わかる範囲で結構ですし、どういうことを考えておられるのか、お答えいただければと思います。

○議長（梅林 守君） 梶瀬健康福祉部長。

○健康福祉部長（梶瀬繁人君） 先ほどの再質問でございますけれども、この問題につきましては今後の内部検討を重ねながら施策に反映していきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（梅林 守君） 2番作野議員。

○2番（作野幸憲君） ありがとうございました。

私は、ブロードバンドについて、きょうとりあえず4月までのところの取り急ぎやっていただきたいことについて提案及び質問をさせていただきましたが、それ以降においてもまだ

まだいろいろな部分、医療や過疎対策、いろいろな部分でこのブロードバンドっていうものは有効に使わなくてはならないものだと思っております。市の財政も非常に厳しいという話も昨日お聞きしたわけですが、このブロードバンドを本当に全市一丸となって活用する方向を見出していただいて、10年後はこのブロードバンドっていうのが安来市ですごく普及して、安来市が非常に生き生きと明るい町に一層なるように、皆さん方の努力をお願いしたいし、我々議員もできる範囲において一生懸命頑張って、また提言等もさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上で私の一般質問とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（梅林 守君） 以上で2番作野幸憲議員の質問を終わります。